

# 無意識から意識へ

農家とのコミュニケーション手法をテーマとした研修会を開催！

(社)岡山県畜産協会 経営指導部

## 1 なぜ、分かってくれない？ なぜ、動かない？

畜産関係者の皆さん、「日頃から研鑽を積み、懸命に指導しているのに、農家になかなか伝わらない、農家が動いてくれない」と感じた経験はありませんか？

畜産関係者が、農家と向き合っている場面を想像してみましよう。私たちは、伝えたい内容を、人と人との対話、つまりコミュニケーションを手段として伝えています。

このことは、農家に何かを伝えるためには、伝える内容だけでなく、伝える手段であるコミュニケーションの技術も重要だという事実を示しています。

また、農家に、私たちの提案や指導を受け入れてもらおうと思えば、農家から信頼を得る必要があります。農家の話を十分に聞いてくれる指導者、話を聞いてくれず、自分の言い分（指導）ばかりを強調する指導者。あなたが農家なら、どちらをより信頼しますか？実は、話の聞き方（相づち、しぐさ等）も、コミュニケーション技術の一つなのです。

## 2 農家とのコミュニケーション手法を学ぼう！

本年3月14日～15日に、美作市湯郷において、農家支援に必要なコミュニケーション技術の向上を目的とした研修会を開催しました。

研修内容は、聞く技術を中心に、基本的なコミュニケーション技術を習得し、さらに農家に出向き、現場での生のやりとりを通じて、コミュニケーション技術を自分のものにする内容です。

参加費用、旅費は自己負担にも関わらず、全国から、企画に関心を抱いた技術者41名（男24名、女17名）が集まり、一泊二日の研修に、高いモチベーションで取り組みました。

参加者から、「これまで、どのような聞き方をすべきか？など考えたことがなかった。今回の研修で、現場でのトレーニングも含め、具体的なコミュニケーションの手法を学べたので、これからは、聞き方、話し方を



コミュニケーション技術の習得



習得した技術を使って現場実習

意識して、現地指導を進めていきたい」の声が出るなど、充実した研修会となりました。

また、研修参加者の多くが、任地に戻って、研修の成果を次々と実践に繋げています。

## 3 今後の活動

今回の研修会は、家畜保健所、普及センター、畜産協会、おからく等から12名の有志が集い、実行委員会を組織して、準備を進めました。

実行委員会は、研修会後も、「チームきびだんご」の名称で活動を継続し、コミュニケーション技術にとどまらず、農家支援に必要なスキルを幅広く捉え、相互研鑽や情報交換の場を作って行きたいと考えています。主旨に関心を持たれた方は、下記に連絡をして下さい。

(チームきびだんご 事務局 藤澤秀世  
(井笠家畜保健衛生所)

[hi-hideyo@hotmail.co.jp](mailto:hi-hideyo@hotmail.co.jp)